

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272400649		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホームいたや荘		
所在地 (電話番号)	〒038-3645 青森県北津軽郡板柳町辻岸田66番地の1 (電話) 0172-79-2101		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月7日	評価確定日	平成21年10月19日

【情報提供票より】(平成 21年 6月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 10月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤 9人, 非常勤 15人, 常勤換算 12人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 1階 ~ 3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 12,600 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(6月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性 5 名	女性 22 名
要介護1	5 名	要介護2	12 名
要介護3	8 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	83 歳	最低	59 歳
		最高	105 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院, 佐藤歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同敷地内に法人系列の施設が隣接しており、相互の協力体制も容易であり、介護力の高い環境にある。3階建て3ユニットの事業所で、周囲にはリング畑が広がり、霊峰岩木山の眺望も入居者の心の安らぎとなっている。法人の理念を基にグループホーム独自の理念を掲げ、管理者を中心に日々その実践に尽力しており、個性を大事に、ゆったりとした雰囲気の中、安易な介助は控え、見守りと寄り添いを持って自立を支援している。又、天然温泉の効果も大きく、希望時に入浴出来る体制であり、各居室には空気清浄機を取り付け、感染症対策や健康面への配慮も行き届いている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価結果は全職員で話し合い、改善に繋げている。地域との関わりは、法人系列の施設が隣接する環境の中において単独での交流は、地域ニ - ズへ充分対応しきれない側面があり、法人全体で交流を持っている。外出支援に関しては、計画以外にも希望に随時対応しており、気軽な散歩は日常的に行われている。又、玄関のオートロックは取り外され出入りは自由である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員に評価表を記入してもらい、管理者がとりまとめ課題を浮き彫りにしている。出された項目は、内容に応じてユニット毎と全体解決に分類し、優先順位をつけて取り組んでいる。法人と協同しながら併設施設の助言も得、全体のサービス向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は隔月で定期的開催され、町内会・役場職員の参加は定着している。外部評価の結果報告や課題に対する取り組み状況、又、事業所独自での解決が困難な事案については意見を頂戴し、現場に反映させている。グループホームが地域の施設として機能していく為にも、町会の持つ有形無形の資源を引き込み、協力を仰ぐ機会として開催されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>各ユニット入り口に意見箱を設置し、入居者や家族から意見を頂戴している。又、面会や、状況報告の電話連絡の折に意見・要望の吸い上げを行い、個々の援助計画に盛り込み、実践したり、業務の見直しに繋げている。苦情受付に関しては、玄関に体制表を掲示、又契約の段階で充分説明し、理解を得ている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>小学校が隣接しており、子供達の元気な声が聞こえてくる環境にあり、天気の良い日は散歩に出かけ校庭での活動を見学している。又、法人全体で夏祭りやピヤガ - デン・スイカ割り等行い、地域住民に開放し、多くの参加を得て好評を博しており、事業所への関心度も高い。今後も福祉の拠点として、事業所の機能を地域に還元して交流する方向である。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人の理念をベースに、同法人の3グループホームの管理者が全職員の意見を持ち寄り、共通認識の上で独自の理念を構築している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関と各階の事務室に掲示すると共に、会議やミーティング等の機会を捉え職員に周知している。又、日々個性を大事にし、快適な環境の下、安全な介護を提供し具現化に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣接の小学校の運動会に参加したり、地区のネプタの慰問を受けたりしている。事業所側でも夏祭りやピヤガ・デン・スイカ割等を開催し、地域住民の参加があり、好評を博している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員に気付きと振り返りを促す目的で自己評価票を記入してもらい、管理者が意見をすり合わせ一本化している。又、外部評価の結果は、職員や上司に報告し、課題について話し合いを持ち、出来る事から改善している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回定期的実施し、外部評価の報告や事業所の現状、参加者からの要望等話し合わせ、行政や町内会の参加を得ている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政担当者との交流は活発であり、電話や訪問で現況報告や、直面する課題に対し指導を受けている。経営者は町の協議会に参加し、地域のサービスの展開状況やケ - スの情報等を把握、連携されている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加し学習している。過去に制度を利用した入居者がおり、必要場面においては利用に繋がられる体制である。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内・外の研修で虐待防止について学習し、法人のマニュアルも確立、職員の意識も統一されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居面接時、書面を持って本人・家族に詳しく説明を行い、納得・理解された上で、署名・捺印をいただき契約を取り交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者の預かり金は管理者3名で、出納の取り扱いを行っており、毎月請求書送付時に領収書も同封している。又、状況報告についても、面会の状況を確認しながら、都度電話で行い、家族との繋がりが疎遠にならないよう配慮されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各階の入り口に意見箱を置き、気軽に投函出来るようになっており、家族や入居者の利用がある。出された意見は、全職員で検討し早い段階で解決し、サービスに反映させている。又、内容については、運営推進会議等で議題に上げ、検討・改善している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は法人内全体で本部決定の下行われている。入居者と馴染みの関係を構築する視点から、グループホームの職員の異動は極力抑えるという配慮が成されており、退職や異動があった場合はお別れ会を行い、入居者に伝える機会を作っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得に向け、初回の受験費用は事業所が負担し、取得を奨励している。又、職員間での勉強会も必要に応じて行っている。外部研修については、経験を優先した参加状況となっており、偏り感が否めない。</p>		<p>勤務形態や、雇用体制の要因で全ての職員が公平に研修参加する事は課題が多いと考えられるものの、個々の習熟度にリンクした研修の場を確保し、職員の質の向上を図り、サービスに反映される事を望みます。</p>
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同法人のグループホームとは交流があり情報交換しているものの、他事業所との交流は殆ど無く、実情の把握も成されていない。</p>		<p>地域内の他グループホームでも同業者との交流が機能していない状況であり、共通課題と認識される。積極的に働きかけネットワークを作り、業務改善や緊急時の連携を容易にする等、地域全体のサービス水準の向上に期待したい。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に訪問を実施し、事業所の生活を紹介したり疑問点について話しあったり、顔なじみになる事で入居への移行をスムーズにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>管理者は本人と家族が疎遠にならないよう、状態報告の機会を多くとり、両者の支援者としての姿勢を保っている。又、生活行為の中に個々の特性や機能を活かしてもらい、洗濯たたみや食事前後の作業を共に行い、役割を持ちながら生きがいのある生活を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に本人や家族から、事業所での生活に対する思いや希望・意向を聞き取り、職員間でも共通認識のもと生活を支援している。聞き取りが困難な場合においても、生活歴や日常の様子に関心を払い、本人本位の視点で対応している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族・関係者から聞き取りした希望や意見をベースに、個々の満足度を高め、より良く暮らせるように全職員で話し合い、介護計画を作成している。又、作成された計画は、署名・捺印を以って本人若しくは家族の承認を得ている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定期間ごとの見直しと、変化が見られた場合は随時作成され、アセスメント・モニタリングの実施記録も整備されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院、外出等は事業所の車輛で送迎し、理美容についても入居前からのいきつけの店を利用してもらい、生活の継続を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医の受診を支援しており、継続的な医療を受けられる体制が出来ている。又、非常勤の看護師が配置され、常時医療機関と連携をとれる体制にある。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に事例はないものの、法人の方針として今後は、本人・家族が希望した場合終末期ケアを行う方向であり、併設の特養の協力も確認出来ている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々のケ - スファイル等個人情報に類する書類は全て事務室管理になっており、安易に外部の目に触れる事は無い。職員の対応も個人を尊重した言葉遣いで、入居者の表情も穏やかである。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴等大まかなタイムスケジュールはあるものの、本人の意向を優先し、気分が向かない時は安全を確認しながら時間を置き支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個々の機能に合わせ、食事前後の作業を入居者と職員が共に行い、適度な会話を交わしながら一緒に食事を摂っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>温泉であり、希望があれば毎日でも入浴出来る体制にある。実際週3回の入浴が実施された他に、本人からの申し出や皮膚の状態に合わせて毎日利用されている入居者もいる。今後は夜間の希望に応じる体制を整備する方向である。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>本人や家族から入居前の生活の様子や嗜好を聞き取り、残存機能と照らし合わせながら、野菜の管理や生活行為の役割を担ってもらい、有用感を持って生活できるよう配慮されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>閉じこもりを防ぎ、気分転換を図ってもらうよう、日頃から外出の場面を多く確保している。特に隣接する小学校の子供達の様子を目にする事が楽しみになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の人権を守るという視点で身体拘束は行われていない。外部研修や法人内の勉強会で学習した経緯があり、時宜を見て再確認の機会を確保する方向である。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は事務室から見える位置にあり、入居者の安全が常に確認出来る環境であり、日中は施錠しておらず、外部からの出入りも制限は無い。居室の施錠については、個人の希望に任せ、見回り時に開錠の協力を依頼している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、地元消防署及び分団の協力を得て避難訓練が行われている。同敷地内の系列施設と共にも避難体制が整備され、有事を想定した通報・誘導訓練を行い、運営推進会議や町内の会合等で地域住民に協力を依頼している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	系列施設の栄養士が献立を作成、栄養量は確保されており、水分不足を予防する為の補水も個人の嗜好に合わせて提供されている。又、一人ひとりの体調や嚥下状態に合わせた食事形態が提供されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成しており、職員間にも周知徹底されている。好発時期は特に世上の発症状況の把握と、県の指導に準じ、対策を講じている。日々の生活の中では、入居者・職員ともに手洗いやうがいをを行い、予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間のテーブルは広く使える大きさで、ゆったりと時間をかけて食事ができるようになっている。又、各居室にトイレと洗面所が取り付けられており、排泄動作の移行がスムーズに出来る環境である。更に全居室に空気清浄器が設置され、空調や採光も心地良く、窓からの眺望も色づいたリンゴと緑の葉がコントラストを描き、季節感を堪能できる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具が持ち込まれ、思い思いに飾り付けされており、事業所の持つ無機質な感払拭され、家庭的な空間になっている。</p>		

 は、重点項目。